



児童たちの健康診断をする鷺見さん。30年近くも学校に通い続けた＝いずれも郡上市那留小で

児童の健康 見守り28年

郡上市白鳥町の那留小学校で三日、学校医鷺見靖彦さん(70)による最後の児童健診があった。鷺見さんは同町の鷺見病院で長年診療を続け、現在は病院を運営する社会医療法人白鳳会の会長を務めている。医師として二十八年間も児童の健康を見守ってきた鷺見さんはこの日、新型コロナウイルスの感染防止のために手作りした簡易フェースシールド七十個を贈り、通い慣れた学校を去った。

(中山道雄)

白鳥の学校医 鷺見さん 最後の健診

健診は保健室で行われ、全児童五十七人が受診した。鷺見さんは一人一人に声を掛けながら、その状態を見たり、聴診器で胸の音を聴いたりした。児童たちは最初緊張気味だったが、優しい鷺見さんに見送られて笑顔になった。休日に少しずつ作ったフェースシールドは、加工したクリアアクリルの上部に形を整えるためのプラスチック板を接着、額に当たる部分にはスポンジが取り付けられており、ヘッドバンドで簡単に装着できる。病院でも同じような品物を使っており、鷺見さんは「子どもたちに飛沫感染予防の意識を高めてもらえればうれしい」と話した。

鷺見病院は郡上市の医療を担う総合病院で、救急医療の中核にもなっている。鷺見さんは一九七九年から鷺見病院に勤務し、院長や白鳳会理事長などを歴任。九二年に那留小と北濃小の学校医を引き受けたが、今年限りで辞めることにした。

「一時期はアトピー性皮膚炎になる子どもが多かった。学校医を長く続けたおかげで、子どもたちの病気の傾向が分かった」と鷺見さん。今年四月には病院に小児科を開設し、地域の人たちに喜ばれている。

鷺見さんはスキー、スノーボードの負傷と治療に詳しく、学生

手作りフェースシールド70個贈る

ためのオリンピックとされるユニバーシアード冬季競技大会のスポートドクターとして四回渡欧した。二〇〇九年には、郡上市高鷺町で開かれたスノーボードワールドカップの実行委員長を務め、大会を成功に導いている。

若いころ、競技スキーでならした鷺見さんは「郡上には多くのスキー場がある。せっかく雪国に生まれたのだから、子どもたちももっとウインタースポーツに親しめる環境を整えてやれればと思う」と話していた。北濃小の児童健診は十七日にあり、同校にもフェースシールド七十個を届ける。学校医は小児科の医師に引き継ぐとい



鷺見さんにもらったフェースシールドを手にする児童たち

中濃



可児・久々利川の源流
無所属 松本理治
(可児市広見)

関支局
千501-3242
関市東福野町5-12
0575(22)3234
Fax(24)3939
美濃加茂通信局
0574(25)7788
Fax(25)7669
郡上八幡通信局
0575(67)1077
Fax(66)0051
白鳥通信部
0575(82)2367
Fax(82)3990
岐阜支社
千500-8875
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地
058(265)0191
Fax(262)8706
(販売)(265)0265
(広告)(266)4791
(事業)(265)0267